

1年次

Table with columns for subject classification (科目区分), nanban number (ナンバリング), subject name (科目名称), credits (履修単位数), lecture form (授業形態), and CAP (①-⑧). Rows include subjects like '現代社会と科学技術', '社会学', '心と身体', '初年次教育', '専門基礎科目', and '専門教育科目'.

2年次

Table with columns for subject classification, nanban number, subject name, credits, lecture form, and CAP (①-⑧). Rows include subjects like '地域フィールドワーク', 'バイオメカニクス', '運動科学実験', 'コミュニケーション', 'デザイン学概論', 'プロジェクト', and '計測工学'.

ナンバリング

Table with columns for row number (行), code explanation (コード説明), and setting content (設定内容). It defines the numbering system for subjects, such as '1行目 2行目' for '区分', '3行目 4行目 5行目' for '分類', '6行目' for '難易度', and '7行目 8行目 9行目' for '一連番号'.

3年次

科目区分	ナンバリング	科目名称	履修	単位数	授業形態	CAP	授業で身に付く力							
							①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
専門基礎科目	BS-320-3-005	工学英語探究Ⅰ	△	1	演習		○	◎	○	○	○	○	○	○
	BS-320-3-006	工学英語探究Ⅱ	△	1	演習		○	◎	○	○	○	○	○	○
	BS-380-3-002	企業研究Ⅱ	△	1	講義	外	◎	◎	○	○	○	○	○	○
専門教育科目	BS-390-3-003	インターンシップ※1	△	1	実習	外	◎	◎	○	○	○	○	○	○
	SP-999-3-001	総合演習Ⅰ	○	2	演習		◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎
	SP-999-3-002	総合演習Ⅱ	○	2	演習		◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎
	SP-100-3-001	情報理論	△	2	講義		◎	◎	◎	◎	○	○	○	○
	SP-110-3-006	コンピューターアーキテクチャ	△	2	講義		◎	◎	◎	◎	○	○	○	○
	SP-550-3-001	CAD/CAM	△	3	演習		◎	◎	○	○	○	○	○	○
	SP-550-3-002	加工学	△	2	講義		◎	◎	○	○	○	○	○	○
	SP-550-3-003	モーター工学	△	2	講義		◎	◎	○	○	○	○	○	○
	SP-550-3-004	ロボットビジョン	△	2	講義		◎	◎	○	○	○	○	○	○
	SP-550-3-005	ロボティクス	△	2	講義		◎	◎	○	○	○	○	○	○
	SP-550-3-007	機構学	△	2	講義		◎	◎	○	○	○	○	○	○
	SP-550-3-008	材料力学	△	2	講義		◎	◎	○	○	○	○	○	○
	SP-550-3-009	三次元CAD	△	3	演習		◎	◎	○	○	○	○	○	○
	SP-550-3-010	数値解析	△	2	講義		◎	◎	○	○	○	○	○	○
	SP-550-3-012	熱力学	△	2	講義		◎	◎	○	○	○	○	○	○
	SP-550-3-013	流体力学	△	2	講義		◎	◎	○	○	○	○	○	○
	SP-560-3-002	システム工学	△	2	講義		◎	◎	○	○	○	○	○	○
	SP-560-3-006	現代制御	△	2	講義		◎	◎	○	○	○	○	○	○
	SP-560-3-008	制御工学	△	2	講義		◎	◎	○	○	○	○	○	○
	SP-999-3-003	特別講義Ⅰ	△	1	講義	外	◎	◎	○	○	○	○	○	○

4年次

科目区分	ナンバリング	科目名称	履修	単位数	授業形態	CAP	授業で身に付く力							
							①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
専門教育科目	SP-999-4-001	卒業研究A	○	4	演習		◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎
	SP-999-4-002	卒業研究B	○	4	演習		◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎
	SP-120-3-005	人工知能	△	2	講義		◎	◎	◎	◎	○	○	○	○
	SP-550-4-003	熱流体システム	△	2	講義		◎	◎	○	○	○	○	○	○
	SP-999-4-003	特別講義Ⅱ	△	1	講義	外	◎	◎	○	○	○	○	○	○

- ※1 授業以外の学習を経て、別途手続きにより修得する科目です。
 ※2 英語表現基礎と英語表現発展は、新入生基礎調査の成績によって履修できる科目が指定されます。

GPAに算入されない科目

成績評価が「認定」である科目 ①外部公的資格の単位認定による科目、 ②他大学履修により単位認定された科目、 ③編入学・転部等で単位認定された科目、 ④「インターンシップ」、「地域ボランティア」、「プロジェクトⅠ」、「プロジェクトⅡ」
--

区分と単位数

区分	科目	単位数
○ 必修	初年次教育・自校教育科目	2 単位
	専門基礎科目	10 単位
	専門科目	24 単位
△ 選択	社会の仕組み科目	25 単位
	心と身体科目	20 単位
	コミュニケーション・スキル科目	18 単位
	初年次教育・自校教育科目	34 単位
	専門基礎科目	32 単位
	専門科目	74 単位
▲ 選択必修	初年次教育・自校教育科目	2 単位
■ 留学生に開講	コミュニケーション・スキル科目	2 単位

進級要件

進級する一つ前の学年に在学し、卒業要件に含まれる科目から以下の単位を修得すること。

年次	進級資格を得るに要する単位数	備考
1年次から2年次	30 単位	15 単位から29 単位の場合、仮進級を行う。
2年次から3年次	60 単位	40 単位から59 単位の場合、仮進級を行う。
3年次から4年次	100 単位	80 単位から99 単位の場合、仮進級を行う。

卒業要件

- 1) 属年次に在学し、在学年数の合計が4年以上であること。
 2) ⑧での必修科目を修得し、かつ卒業要件に含まれる科目から下表の単位を修得すること。

授業で身に付く力

①	工学の各分野の専門的な知識と技術を有し、活用できる。
②	工学部の学問的基盤となる関連分野を学際領域的に把握している。
③	工学についての基礎的な知識・技術、情報リテラシー、数量的スキル、表現スキルを有し、活用できる。
④	多様な人々、社会、文化に関する幅広い知識と教養を有している。
⑤	コミュニケーション力や論理的思考力、自己管理能力等の汎用的な技能を有し、実践できる。
⑥	リーダーシップやメンバーシップ、健全な倫理観等の社会に必要な態度を有している。
⑦	これまで修得した知識・技能・態度を総合して、正しく整理し、伝えることができる。
⑧	自ら継続的に学び、自己を成長させるスキルと志向性を有している。

科目区分	卒業資格を得るに要する単位数	追加要件	
教養科目	コミュニケーション・スキル科目	6 単位 <留学生のみ> 卒業資格を得るに要する単位数6単位のうち、4 単位については、次の9 科目の中から修得すること。 ・英語教養セミナー(1) ・英語表現基礎Ⅰ(1) ・英語表現基礎Ⅱ(1) ・英語表現発展Ⅰ(1) ・英語表現発展Ⅱ(1) ・日本語Ⅰ(1) ・日本語Ⅱ(1) ・文書リテラシー(1) ・プレゼンテーション基礎技法(1)	
	社会の仕組み科目	4 単位	—
	心と身体科目	4 単位	—
初年次教育・自校教育科目	3 単位	卒業資格を得るに要する単位数3単位のうち、1 単位については、次の2 科目の中から修得すること。 ・写真演習(1) ・デザイン演習(1)	
専門教育科目	専門基礎科目	22 単位	—
	専門科目	70 単位	—
	上記の各科目区分の卒業資格を得るに要する単位数を超えて修得した単位数 ・他学部・他大学履修科目 ・教職科目(教育実習A・B、教職実践演習(中・高)を除く)	15 単位	—
合計	124 単位	—	

3 年次

科目区分	ナンバリング	科目名称	履修 単位	授業 形態	CAP	授業で身に付く力								
						①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
専門 基礎 科目	BS-320-3-005	工学英語探究Ⅰ	△	1	演習	○	◎	○	○	○	○	○	○	○
	BS-320-3-006	工学英語探究Ⅱ	△	1	演習	○	◎	○	○	○	○	○	○	○
	BS-380-3-002	企業研究Ⅱ	△	1	講義	外	◎	◎	○	○	○	○	○	○
	BS-390-3-003	インターンシップ	△	1	実習	外	◎	◎	○	○	○	○	○	○
専門 教育 科目	SP-560-3-014	電気電子応用実験Ⅱ	○	2	実験	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○
	SP-999-3-001	総合演習Ⅰ	○	2	演習	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-999-3-002	総合演習Ⅱ	○	2	演習	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-110-3-009	デジタル回路設計	△	2	講義	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○
	SP-440-3-001	プラズマプロセッシング	△	2	講義	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○
	SP-440-3-005	光エレクトロニクス	△	2	講義	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○
	SP-440-3-007	光情報機器・設計	△	2	講義	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○
	SP-440-3-008	光物性	△	2	講義	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○
	SP-470-3-001	応用数学	△	2	講義	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○
	SP-470-3-002	解析学B	△	2	講義	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○
	SP-470-3-003	微分積分学応用B	△	2	講義	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○
	SP-560-3-004	パワーエレクトロニクス	△	2	講義	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○
	SP-560-3-008	制御工学	△	2	講義	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○
	SP-560-3-009	送配電工学	△	2	講義	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○
	SP-560-3-010	通信工学	△	2	講義	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○
	SP-560-3-012	電気機器学	△	2	講義	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○
	SP-560-3-013	電気機器設計及び電気製図	△	2	講義	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○
	SP-560-3-016	電気電子材料概論	△	2	講義	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○
	SP-560-3-017	電子回路	△	2	講義	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○
	SP-560-3-018	半導体プロセス	△	2	講義	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○
	SP-560-3-019	有機電子材料	△	2	講義	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○
SP-999-3-003	特別講義Ⅰ	△	1	講義	外	◎	◎	○	○	○	○	○	○	

4 年次

科目区分	ナンバリング	科目名称	履修 単位	授業 形態	CAP	授業で身に付く力								
						①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
専門 教育 科目	SP-999-4-001	卒業研究A	○	4	演習	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-999-4-002	卒業研究B	○	4	演習	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-560-4-002	電気法規及び施設管理	△	2	講義	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○
	SP-560-4-003	電波工学	△	2	講義	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○
	SP-999-4-003	特別講義Ⅱ	△	1	講義	外	◎	◎	○	○	○	○	○	○

- ※1 授業以外の学習を経て、別途手続きにより修得する科目です。
- ※2 英語表現基礎と英語表現発展は、新入生基礎調査の成績によって履修できる科目が指定されます。

GPAに算入されない科目

成績評価が「認定」である科目 ①外部公的資格の単位認定による科目、 ②他大学履修により単位認定された科目、 ③編入学・転部等で単位認定された科目、 ④「インターンシップ」、「地域ボランティア」、「プロジェクトⅠ」、「プロジェクトⅡ」
--

進級要件

進級する一つ前の学年に在学中、卒業要件に含まれる科目から以下の単位を修得すること。

年次	進級資格を得るに 要する単位数	備考
1年次から2年次	30単位	15単位から29単位の場合、仮進級を行う。
2年次から3年次	60単位	40単位から59単位の場合、仮進級を行う。
3年次から4年次	100単位	80単位から99単位の場合、仮進級を行う。

卒業要件

- 1) 属年次に在学し、在学年数の合計が4年以上であること。
- 2) ②の必修科目を修得し、かつ卒業要件に含まれる科目から下表の単位を修得すること。

科目区分	卒業資格を得るに 要する単位数	追加要件	
教養 科目	コミュニケーション・スキル科目	6単位 <留学生のみ> 卒業資格を得るに要する単位数6単位のうち、4単位については、次の9科目の中から修得すること。 ・英語教養セミナー(1) ・英語表現基礎Ⅰ(1) ・英語表現基礎Ⅱ(1) ・英語表現発展Ⅰ(1) ・英語表現発展Ⅱ(1) ・日本語Ⅰ(1) ・日本語Ⅱ(1) ・文意リテラシー(1) ・プレゼンテーション基礎技法(1)	
	社会の仕組み科目	4単位	-
	心と身体科目	4単位	-
初年次教育・自校教育科目	3単位	卒業資格を得るに要する単位数3単位のうち、1単位については、次の2科目の中から修得すること。 ・写真演習(1) ・デザイン演習(1)	
専門 教育 科目	専門基礎科目	22単位	-
	専門科目	70単位	-
上記の各科目区分の卒業資格を得るに要する単位数を超えて修得した単位数 ・他学部・他大学履修科目 ・教職科目(教育実習A・B、教職実践演習(中・高)を除く)	15単位	-	
合計	124単位	-	

授業で身に付く力

①	工学の各分野の専門的な知識と技術を有し、活用できる。
②	工学部の学問的基盤となる関連分野を学際領域的に把握している。
③	工学についての基礎的な知識・技術、情報リテラシー、数量的スキル、表現スキルを有し、活用できる。
④	多様な人々、社会、文化に関する幅広い知識と教養を有している。
⑤	コミュニケーション力や論理的思考力、自己管理能力等の汎用的な技能を有し、実践できる。
⑥	リーダーシップやメンバーシップ、健全な倫理観等の社会で必要な態度を有している。
⑦	これまで修得した知識・技能・態度を総合して、正しく整理し、伝えることができる。
⑧	自ら継続的に学び、自己を成長させるスキルと志向性を有している。

3年次

科目区分	ナンバリング	科目名称	履修	単位数	種別	CAP	授業で身に付く力							
							①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
専門基礎科目	BS-320-3-005	工学英語探究Ⅰ	△	1	演習		○	◎	○	○	○	○	○	○
	BS-320-3-006	工学英語探究Ⅱ	△	1	演習		○	◎	○	○	○	○	○	○
専門教育科目	BS-380-3-002	企業研究Ⅱ	△	1	講義	外		◎	○	○	○	○	○	○
	BS-390-3-003	インターンシップ	△	1	実習	外		◎	○	○	○	○	○	○
	SP-999-3-001	総合演習Ⅰ	○	2	演習		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-999-3-002	総合演習Ⅱ	○	2	演習		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-100-3-001	情報理論	△	2	講義		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-100-3-002	統計処理応用	△	2	講義		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-110-3-001	C Gプログラミング	△	1	演習		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-110-3-003	Javaプログラミング応用	△	2	演習		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-110-3-004	Javaプログラミング基礎	△	2	演習		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-110-3-005	Webプログラミング	△	2	演習		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-110-3-006	コンピュータアーキテクチャ	△	2	講義		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-110-3-007	スポーツデータ解析	△	2	講義		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-110-3-008	ソフトウェアエンジニアリング	△	2	講義		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-110-3-010	データベース応用	△	2	講義		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-110-3-011	ネットワークプログラミング	△	2	講義		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-110-3-012	音声メディア処理	△	2	講義		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-110-3-013	画像処理プログラミング演習	△	1	演習		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-110-3-015	情報システム構築	△	2	講義		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-110-3-016	情報セキュリティ	△	2	講義		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-110-3-017	情報数学	△	2	講義		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-120-3-001	C G制作演習	△	2	演習		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-120-3-002	データマイニング	△	2	講義		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-120-3-003	無人航空機による画像センシング	△	2	講義		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-120-3-004	映像制作応用	△	2	講義		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-120-3-005	画像メディア処理	△	2	講義		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-120-3-006	画像形成学	△	2	講義		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-120-3-007	感性情報学	△	2	講義		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-120-3-008	機械学習理論と応用	△	2	講義		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-120-3-009	人工知能	△	2	講義		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-120-3-010	量子イメージング	△	2	講義		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-130-3-001	ゲームシミュレーション	△	2	講義		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-130-3-002	サウンドデザイン	△	2	講義		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-440-3-002	プリンティングシステム	△	2	講義		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
SP-440-3-005	光エレクトロニクス	△	2	講義		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
SP-440-3-006	光画像計測工学	△	2	講義		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
SP-440-3-007	光情報機器・設計	△	2	講義		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
SP-560-3-001	システムエンジニアリング	△	2	講義		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
SP-560-3-003	シミュレーション技法	△	2	講義		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
SP-560-3-005	画像機器	△	2	講義		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
SP-999-3-003	特別講義Ⅰ	△	1	講義	外	○	◎	○	○	○	○	○	○	

ナンバリング

行	コード説明	設定内容
1行目 2行目	区分	S P : 専門 B S : 基礎
3行目 4行目 5行目	分類	100:情報学基礎,110:計算基礎,120:人間情報学,130:情報学フロンティア,165:デザイン学,180:教育学,190:技術史,220:社会・安全システム科学,240:健康・スポーツ科学,260:脳科学,300:芸術学,310:文学,320:言語学,360:法学,380:経済学,390:経営学,400:社会学,420:教育学,440:応用物理学,470:数学,490:物理学,520:基礎化学,560:電気電子学,999:その他
6行目	難易度	1 : 学部1年次学習レベル 2 : 学部2年次学習レベル 3 : 学部3年次学習レベル 4 : 学部4年次学習レベル
7行目 8行目 9行目	一連番号	001~999 (通し番号)

授業で身に付く力

①	工学の各分野の専門的な知識と技術を有し、活用できる。
②	工学部の学問的基礎となる関連分野を学際領域的に把握している。
③	工学についての基礎的な知識・技術、情報リテラシー、数量的スキル、表現スキルを有し、活用できる。
④	多様な人々、社会、文化に関する幅広い知識と教養を有している。
⑤	コミュニケーション力や論理的思考力、自己管理能力等の汎用的な技術を有し、実践できる。
⑥	リーダーシップやメンバーシップ、健全な倫理観等の社会で必要な態度を有している。
⑦	これまで修得した知識・技能・態度を総合して、正しく整理し、伝えることができる。
⑧	自ら継続的に学び、自己を成長させるスキルと志向性を有している。

4年次

科目区分	ナンバリング	科目名称	履修	単位数	種別	CAP	授業で身に付く力							
							①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
専門教育科目	SP-120-4-002	バーチャルリアリティ	△	2	講義		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-360-4-001	知的財産論	△	2	講義		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-999-4-001	卒業研究 A	○	4	演習		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-999-4-002	卒業研究 B	○	4	演習		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	SP-999-4-003	特別講義Ⅱ	△	1	講義	外	○	◎	○	○	○	○	○	○

- ※1 授業以外の学習を経て、別途手続きにより修得する科目です。
- ※2 英語表現基礎と英語表現発展は、新入生基礎調査の成績によって履修できる科目が指定されます。

区分と単位数

区分	要件	科目	単位数
○	必修	初年次教育・自校教育科目	2 単位
		専門基礎科目	10 単位
△	選択	専門科目	21 単位
		社会の仕組み科目	25 単位
		心と身体科目	20 単位
		コミュニケーション・スキル科目	18 単位
		初年次教育・自校教育科目	25 単位
		専門基礎科目	30 単位
		専門科目	138 単位
		▲	選択必修
■	留学生に開講	コミュニケーション・スキル科目	2 単位

進級要件

進級する一つの学年に在学し、卒業要件に含まれる科目から以下の単位を修得すること。

年次	進級資格を得るに要する単位数	備考
1年次から2年次	30 単位	15 単位から29 単位の場合、仮進級を行う。
2年次から3年次	60 単位	40 単位から59 単位の場合、仮進級を行う。
3年次から4年次	100 単位	80 単位から99 単位の場合、仮進級を行う。

卒業要件

- 1) 属年次に在学し、在学年数の合計が4年以上であること。
- 2) ②の必修科目を修得し、かつ卒業要件に含まれる科目から下表の単位を修得すること。

科目区分	卒業資格を得るに要する単位数	追加要件
教養科目	コミュニケーション・スキル科目	6 単位 <留学生のみ> 卒業資格を得るに要する単位数6 単位のうち、4 単位については、次の9 科目の中から修得すること。 ・英語教養セミナー(1) ・英語表現基礎Ⅰ(1) ・英語表現基礎Ⅱ(1) ・英語表現発展Ⅰ(1) ・英語表現発展Ⅱ(1) ・日本語Ⅰ(1) ・日本語Ⅱ(1) ・文書リテラシー(1) ・プレゼンテーション基礎技法(1)
	社会の仕組み科目	4 単位
	心と身体科目	4 単位
初年次教育・自校教育科目	3 単位	卒業資格を得るに要する単位数3 単位のうち、1 単位については、次の2 科目の中から修得すること。 ・写真演習(1) ・デザイン演習(1)
専門教育科目	専門基礎科目	22 単位
	専門科目	70 単位
	合計	124 単位

3年次

科目区分	ナンバリング	科目名称	履修	単位数	種別	CAP	授業で身に付く力							
							①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
専門基礎科目	BS-320-3-005	工学英語探究Ⅰ	△	1	演習		○	○	○	○	○	○	○	○
	BS-320-3-006	工学英語探究Ⅱ	△	1	演習		○	○	○	○	○	○	○	○
専門基礎科目	BS-380-3-002	企業研究Ⅱ	△	1	講義	外		○	○	○	○	○	○	○
	BS-390-3-003	インターンシップ	△	1	実習	外		○	○	○	○	○	○	○
専門基礎科目	SP-580-3-013	建築施工Ⅰ	○	2	講義		○	○	○	○	○	○	○	○
	SP-580-3-016	建築設計製図Ⅲ	○	2	演習		○	○	○	○	○	○	○	○
専門基礎科目	SP-160-3-001	環境計画	▲	2	講義		○	○	○	○	○	○	○	○
	SP-580-3-002	近代建築史	▲	2	講義		○	○	○	○	○	○	○	○
専門基礎科目	SP-580-3-003	建築意匠	▲	2	講義		○	○	○	○	○	○	○	○
	SP-580-3-004	建築環境学実験	▲	1	実験		○	○	○	○	○	○	○	○
専門基礎科目	SP-580-3-005	建築計画Ⅲ	▲	2	講義		○	○	○	○	○	○	○	○
	SP-580-3-006	建築構造Ⅰ	▲	2	講義		○	○	○	○	○	○	○	○
専門基礎科目	SP-580-3-007	建築構造Ⅱ	▲	2	講義		○	○	○	○	○	○	○	○
	SP-580-3-008	建築構造Ⅲ	▲	2	講義		○	○	○	○	○	○	○	○
専門基礎科目	SP-580-3-009	建築構造Ⅳ	▲	2	講義		○	○	○	○	○	○	○	○
	SP-580-3-010	建築構造設計	▲	2	講義		○	○	○	○	○	○	○	○
専門基礎科目	SP-580-3-011	建築材料Ⅱ	▲	2	講義		○	○	○	○	○	○	○	○
	SP-580-3-012	建築材料構造実験	▲	1	実験		○	○	○	○	○	○	○	○
専門基礎科目	SP-580-3-014	建築情報処理Ⅱ	▲	2	講義		○	○	○	○	○	○	○	○
	SP-580-3-015	建築生産	▲	2	講義		○	○	○	○	○	○	○	○
専門基礎科目	SP-580-3-017	建築設計製図Ⅳ	▲	2	演習		○	○	○	○	○	○	○	○
	SP-580-3-018	西洋建築史	▲	2	講義		○	○	○	○	○	○	○	○
専門基礎科目	SP-580-3-019	設備計画Ⅰ	▲	2	講義		○	○	○	○	○	○	○	○
	SP-580-3-020	設備計画Ⅱ	▲	2	講義		○	○	○	○	○	○	○	○
専門基礎科目	SP-580-3-021	都市設計	▲	2	講義		○	○	○	○	○	○	○	○
	SP-580-3-022	都市計画	▲	2	講義		○	○	○	○	○	○	○	○
専門基礎科目	SP-999-3-003	特別講義Ⅰ	▲	1	講義	外		○	○	○	○	○	○	○
	SP-165-3-001	デザインシミュレーション	△	2	講義		○	○	○	○	○	○	○	○
専門基礎科目	SP-580-3-001	パブリックエンジニアリング	△	2	講義		○	○	○	○	○	○	○	○

4年次

科目区分	ナンバリング	科目名称	履修	単位数	種別	CAP	授業で身に付く力							
							①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
専門基礎科目	SP-999-4-001	卒業研究A	○	4	演習						○	○	○	○
	SP-999-4-002	卒業研究B	○	4	演習						○	○	○	○
専門基礎科目	SP-580-4-001	建築構造Ⅴ	▲	2	講義		○	○	○	○	○	○	○	○
	SP-580-4-002	建築施工Ⅱ	▲	2	講義		○	○	○	○	○	○	○	○
専門基礎科目	SP-580-4-003	建築設計製図Ⅴ	▲	2	演習		○	○	○	○	○	○	○	○
	SP-580-4-004	測量学	▲	2	講義		○	○	○	○	○	○	○	○
専門基礎科目	SP-580-4-005	測量学演習	▲	1	演習		○	○	○	○	○	○	○	○
	SP-999-4-003	特別講義Ⅱ	▲	1	講義	外		○	○	○	○	○	○	○

- ※1 授業以外の学習を経て、別途手続きにより修得する科目です。
 ※2 英語表現基礎と英語表現発展は、新入生基礎調査の成績によって履修できる科目が指定されます。

GPAに算入されない科目

成績評価が「認定」である科目 ①外部公的資格の単位認定による科目、 ②他大学履修により単位認定された科目、 ③編入学・転部等で単位認定された科目、 ④「インターンシップ」、「地域ボランティア」、「プロジェクトⅠ」、「プロジェクトⅡ」
--

進級要件

進級する一つ前の学年に在学し、卒業要件に含まれる科目から以下の単位を修得すること。

年次	進級資格を得るに要する単位数	備考
1年次から2年次	30単位	15単位から29単位の場合、仮進級を行う。
2年次から3年次	60単位	40単位から59単位の場合、仮進級を行う。
3年次から4年次	100単位	80単位から99単位の場合、仮進級を行う。

卒業要件

- 1) ①年次に在学し、在学年数の合計が4年以上であること。
 2) ②の必修科目を修得し、かつ卒業要件に含まれる科目から下表の単位を修得すること。

科目区分	卒業資格を得るに要する単位数	追加要件
教養科目	コミュニケーション・スキル科目	6単位 <留学生のみ> 卒業資格を得るに要する単位数6単位のうち、4単位については、次の9科目の中から修得すること。 ・英語教養セミナー(1) ・英語表現基礎Ⅰ(1) ・英語表現基礎Ⅱ(1) ・英語表現発展Ⅰ(1) ・英語表現発展Ⅱ(1) ・日本語Ⅰ(1) ・日本語Ⅱ(1) ・文章リテラシー(1) ・プレゼンテーション基礎技法(1)
	社会の仕組み科目	4単位 -
	心と身体科目	4単位 -
初年次教育・自校教育科目	3単位	卒業資格を得るに要する単位数3単位のうち、1単位については、次の2科目の中から修得すること。 ・写真演習(1) ・デザイン演習(1)
専門教育科目	専門基礎科目	22単位 -
	専門科目	70単位 卒業資格を得るに要する単位数70単位のうち、22単位については、選択必修科目から修得すること。
合計	124単位	-

区分と単位数

区分	単位数	備考
○ 必修	初年次教育・自校教育科目	2単位
	専門基礎科目	10単位
	専門科目	48単位
△ 選択	社会の仕組み科目	25単位
	心と身体科目	20単位
	コミュニケーション・スキル科目	18単位
	初年次教育・自校教育科目	25単位
	専門基礎科目	32単位
	専門科目	13単位
▲ 選択必修	初年次教育・自校教育科目	2単位
	専門科目	52単位
■ 留学生に開講	コミュニケーション・スキル科目	2単位

授業で身に付く力

① 工学の各分野の専門的な知識と技術を有し、活用できる。
② 工学部の学問的基礎となる関連分野を学際領域的に把握している。
③ 工学についての基礎的な知識・技術、情報リテラシー、数量的スキル、表現スキルを有し、活用できる。
④ 多様な人々、社会、文化に関する幅広い知識と教養を有している。
⑤ コミュニケーション力や論理的思考力、自己管理能力等の汎用的な技能を有し、実践できる。
⑥ リーダーシップやメンバーシップ、健全な倫理観等の社会に必要な態度を有している。
⑦ これまで修得した知識・技能・態度を総合して、正しく整理し、伝えることができる。
⑧ 自ら継続的に学び、自己を成長させるスキルと志向性を有している。